

●三位一体後第十八主日

泉のほとり

今月の詩編「第十四編」

どうか、イスラエルの救いが

シオンから起こるように。

主が御自分の民、

捕われ人を連れ帰られるとき

ヤコブは喜び躍り

イスラエルは喜び祝うであろう。



上からの知恵は

「聞くだけで、行いがいい。それは自分を欺くこと」と語られてきたヤコブの手紙。それに制御すること知らない兄弟たちの現状を反映し、「舌は火です。全身を汚し、移り変わる人生を焼き尽くし、自らも地獄の火によって燃やされます」「舌を制御できる人は一人もいません。舌は、疲れを知らない悪で、死をもたらす毒に満ちています」と告げました。同じ口から賛美と呪いが出て来ることに對し、「私の兄弟たち、このようなことがあつてはなりません」と教えました。

「あなたがたの中で、知恵があり分別があるのはだれか」と問ひかけ、「その人は、知恵にふさわしい柔和な行いを、立派な生き方によって示さない」と語りかけました。聖書が示す「知恵」とは「柔和」を性質とするものです。知恵があるというのは柔和な心を持っているという意味です。ヤコブは「舌」による言葉での応答を求めています。「柔和な心」による行いを、その生き方から、生活から見せなさいと求めているのです。

聖書がいう「知恵」とは人のあり方を指すものであつて、十字架に表されるキリストの「聖なるあり方」から示されるもの。それを受ける人の存在に語りかけ、その存在に変容をもたらす「力」で、人に主イエスの「品性」を刻むものです。しかし、「あなたがたが内心ねたみ深く利己的であるなら、傲慢したり、真理に反し、偽つてはなりません」と語りかけました。妬みと利己心、そのような知恵は、上から出たものではなく、この地上のもの、特に「悪魔から出たもの」と告げました。そして妬みと利己心からは、混乱、秩序の乱れ、不和、悪い行いという実が現れると言ふのです。

それに対し、「上から出た知恵は、何よりもまず、純真で、更に、温和で、優しく、従順なものです。憐れみと良い実に満ちています。偏見はなく、偽善的でもありません。義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです」と述べました。同じ泉の穴から甘い水と苦い水が出ないように、神から出たものは神からのものを出し、キリストが蒔かれたものはキリストからの知恵の実を結ぶものです。

ヤコブ先生は現実離れた高いところからの適用ではなく、最も目の前にあるものから、「妬み、利己心があるなら、傲慢して、自分を欺く、真実に反することをしてはならない」と、まず、そこから取り組むようにと促しているのです。福音は、十字架を通して語られた神の知恵です。神は人の意志や心を越える方ではなく、十字架を通して語られる知恵を通して、私たちの意志と心に語りかけておられるのです。

1章では、「いろいろな試練にあうとき、この上ない喜びと思ひなさい」と教えられました。「信仰が試されることで忍耐が生じる」「あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなく、とがめだてしないでお与えになる神に願ひなさい」とも教えました。忍耐は苦難や試練を通して授けられます。そこで、私たちが自分の欠けに気付かされ、妬みをはじめとする世のものに生きる愚かさにも気付かされるのです。神の知恵はそのようにして私たちのあり方を変えるのです。

「あなたがたがねたみ深く、利己的であるなら、自分を誇つたりして、真実に對し、偽つてはならない」と言われました。自分に偽りのない心、惨めで不都合な自分でもそれに気付かされ、それに真実に向き合う用意のある心、それが人に求められる「きよさ」です。その「きよさ」こそ、あらゆる時に欠かしてはならないもの、信仰、知恵です。

この手紙を書いたヤコブ先生は、主イエスと一緒にナザレで生活を共にした肉による兄弟です。かつて主イエスを信じませんでした。その彼も十字架と死、復活に表された主イエスを知り、変えられた者です。彼自身、十字架の目の前に自分の罪も悪も、妬みも利己心も加減なく真実に向き合わされたのです。そのきよい心にキリストにある柔和が、偽りなき心、義と愛、平和が宝と見えたのです。

私たちも、最も目の前にある自分自身の課題一つひとつに真実かつ誠実に取り組んで、上からの知恵を願ひ求めて生きようではありませんか。

(ヤコブ三章一三―一八節 黄允湜牧師)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 定例役員会をカナルルームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 次週、二六日(日)午後二時から保川幹代姉の葬儀を礼拝堂で執り行います。

○ 二五日(土)附属幼稚園の運動会が園庭で行われます。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《ルツの会より》

礼拝後、ルツの会を地下ホールで行います。民数記一二章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《墓苑礼拝担当より》

本日、墓苑礼拝の申込締切日となります。参加予定でまだの方はお申込みをお願いします。

《祈りの会より》

来週二六日に祈りの会を開きますので、皆さんご参加ください。一二時三〇分開始予定、場所は三Fの旧副牧師室です。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇十四篇】 指揮者によって。ダビデの詩。

神を知らぬ者は心に言う

「神などない」と。

人々は腐敗している。

忌むべき行いをする。善を行う者はいない。

主は天から人の子らを見渡し、探される

目覚めた人、神を求める人はいないか、と。

だれもかれも背き去った。皆ともに、汚れている。

善を行う者はいない。ひとりもない。

悪を行う者は知っているはずではないか。

パンを食らうかのように

わたしの民を食らい

主を呼び求めることをしない者よ。

そのゆえにこそ、大いに恐れるがよい。

神は従う人々の群れにいます。

貧しい人の計らいをお前たちが挫折させても

主は必ず、避けどころとなつてくださる。

どうか、イスラエルの救いが

シオンから起こるように。

（司・会）

主が御自分の民、

捕われ人を連れ帰られるとき

ヤコブは喜び躍り

イスラエルは喜び祝つてであらう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「献身」

聖書 サムエル記上1章9～11節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「心の中に何があるか」

聖書 使徒16章16～25節

説教者 宮間彰広 兄

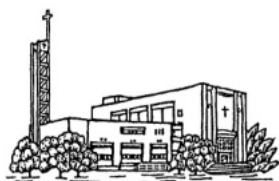
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 525番 151番

説教 「死を超える希望の源」

聖書 ルカ7章11～17節

説教者 吉村和雄 名誉牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 93番 336番
説教 「主の前にへりくだりなさい」
聖書 ヤコブ4章1～10節(新約P.425)
司式 山下 純一 氏
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「神はわがやぐら」J.S.バッハ

○讃美歌93番

1. みかみのめぐみをおもいみれば
うれしさあまりて うたとぞなる
2. まよえるときには みちをしめし
おごれるときには むちをたまう
3. この身にあまれる みいつくしみ
おさなきときより いやつもりぬ
4. つもりにつもれる みめぐみをば
この世に かの世に うたいつづけん

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「主に歌え」 DAVE and JEAN PERRY作曲
Alleluia, Alleluia!

歌え 神に 諸人よ Alleluia!
歌え 神に 諸人よ Alleluia!
歌え 讃えよ 神を
歌い 讃えよ 神を
歌え 神に 諸人よ Alleluia!
歌え 神に 諸人よ Alleluia!
新しき歌を喜びて歌え 主に
新しき歌を Alleluia!
ほめ歌え 主に 神に
神に歌え ほめ歌え 神に
歌え 神に 諸人よ Alleluia!
歌え 神に 諸人よ Alleluia!
歌え 神に 歌え Alleluia!

○讃美歌336番

1. 主イエスよ 十字架を み手より受けて
われは世のほまれ むなしき望み
棄つとも惜しまじ ただ主によりて
みかみの国をば 得るぞうれしき
2. わが身のたのしみ わがもつたから
ことごとこの世は うばい去るとも
われはかなしまじ ただ主によりて
みかみの富をば うるぞうれしき
3. われはめぐみより さかえにすすみ
のぞみはまことに いのりはうたに
やがてかわりゆかん ただ主によりて
みかみの愛をば うるぞうれしき

アーメン

聖餐曲「小さな和声の迷宮」J.S.バッハ

後奏曲「前奏曲とフーガ ホ長調より(フーガ)」

J.S.バッハ